

ハマダラハルカ

Haruka elegans

兵庫県：要調査

環境省：情報不足(DD)

種の概要

体長10mm程度。体色は黒褐色で触角は短い。翅には黄白色の斑紋がある。低山地の樹林に見られ、成虫は早春（3～4月）に出現し、立ち木に集合する。幼虫はネムノキの朽木の樹皮下に生息している。



写真提供：宇都宮靖博

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、宝塚市、佐用町

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| | | | | | ○ |



特記事項

新規追加種

低山地の樹林に生息。早春3～4月に出現し、成虫は立ち木に集合する。幼虫はネムノキの朽木の樹皮下に生育する。成虫が早春期の短期間のみ出現するため、これまで記録が少なかった可能性があり、調査を要する。

保護上の留意点